

がっこうとしょかん はくたの学校図書館だより

第5号 令和4年 3月/発行



もうすぐ進学、進級ですね。未来へ踏み出すたくさんのうれしさと、少しの不安でドキドキしていませんか？
今回は、そんなあなたにおすすめする本と、学校司書が好きな言葉を紹介합니다。

今年度も学校司書の私たちが「はくたの学校図書館だより」を作りました！（イラストは司書のイメージです）

 伯太中 小林順子	 安田小 板持靖子	 母里小 青山明子	 井尻小 久保井かおり	 赤屋小 千代田環子
--	--	--	--	---



『あなたがおとなになったとき』
湯本香樹実/作、はたこうしろう/絵、講談社

あなたがおとなになるころには、どんな世の中になっているのかな。変わっていくものが多いけど、今のまま大切にしたいこともあるよね。（青山）



『山をつくる 東京チェーンソーズの挑戦』
菅聖子/文、小峰書店

30年後の未来を見つめ、森で働く現代のきこり「チェーンソーズ」。キケンでしんどそうな林業のイメージが変わります。将来の仕事選びの参考にも！（青山）



『そらをとびたい』
山本直洋/写真、ちかぞう/文、小学館

モーターパラグライダーにのって撮影した写真絵本です。ページをめくるたびに、見える景色の美しさに感動します。いつか空をとんでみたいと思っているキミにおすすめ。（千代田）

「あした、まだなにひとつ失敗をしない新しい日だと思えば、うれしくない？」 アン・シャーリー
『赤毛のアン』より



『ゆうかなな女の子ラモーナ』

ベバリー・クリアラー / 作、松岡享子 / 訳、学研
新1年生のラモーナ。1年生ってこうだね…と、笑わないで。だれだって、こうだったんだから。もしかして、今でも…？笑って、そしてちょっぴり涙がでるお話です。（小林）



『個性ってなんだ？LGBTの本』

中塚幹也 / 監修、あかね書房
体も心も大きく成長し、人との違いに迷ったり悩んだりすることがあるかもしれません。やりたいこと、なりたい自分も人それぞれ。みんながそれぞれ自分らしくいることが大切だね。（千代田）

あしたの あたしは
あたらしい あたし
石津ちひろ。



『にげてさがして』
ヨシタケシンスケ、赤ちゃんとママ社

世の中にはいろんな人がいる。もしも、ひどいことをされそうになったらここから逃げて大丈夫。いつかきみにもすてきな誰かが、すてきな何かが見つかるよ。だから、探すことをやめないでね。（久保井）



『おとなになるってどんなこと？』

吉本ばなな / 著、筑摩書房
「気持ちがぶれてしまったとき」「落ちこんでしまったとき」に読みかえす「お守りみたいな」本です。眠れない夜には、そっと開いてみてください。（小林）

壁を壊すのはむずかしい。ならば窓をあければいい。
オノ・ヨーコ



『さくらのつぼみがひらいたら』

秋山りん/よこやまようへい、角川学習出版
人は変わる。自分も変わる。友だちの知らない一面を見つれたり、自分の弱い面を見つれたり。新しい一歩をふみ出すって勇気があるけど、その先には新しい世界が開けていると思うよ。（久保井）



『さくららら』

升井純子/文、小寺卓矢/写真、アリス館
日本一おそく咲くチシマザクラが、「だれかと比べなくていいよ。自分のペースで自分らしく生きようよ。」と、そっと背中をおしてくれる本です。（板持）

いは 石ばらる 垂水の上の
さ 蕨の 萌え出づる
はる 春になりけるかも
志貴皇子
『まんようしゅう』
『万葉集』



『八郎』 斎藤隆介/作、滝平二郎/画、福音館書店

大きな山を動かして村を救った八郎も、はじめは体が大きいだけのふつうの人だった。未来のことはわからない。自分には何のとりえもないと思っているあなたも、きっとだれかのヒーローになれるよ。（板持）

人生に遅すぎるということはない
安藤百福



編集後記

おもいだしてごらん、この一年。めんどろになって投げ出してしまったことや、失敗したこともあったけど、でも、がんばったことや、できたこともたくさんあったよね。さあ、心のとびらを開けてみよう。大きく成長したきみの姿が見えるはず。これからきみがうれしいとき、かなしいとき、どんなときも、ずっとずっと応援しているよ。

